

様式第4号（第11項関係）

西脇市審議会等の会議の記録

審議会等の名称	第17回 西脇市子ども・子育て会議	
開催日時	令和元年5月31日（月） 午後1時30分から3時まで	
開催場所	播磨内陸生活文化総合センター 多目的研修室	
出席委員の 氏名又は人数	12名	
欠席委員の 氏名又は人数	5名	
出席職員の職・ 氏名又は人数	事務局8名	
公開・非公開 の別	公開	
非公開の理由		
傍聴人の数	1名	
議題又は 協議事項	1 （仮称）西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例（案）に係るパブリック・コメントについて 2 第2期西脇市子ども・子育て支援事業計画について (1) 西脇市子ども・子育て支援に関する現状と課題の分析報告 (2) 第2期西脇市子ども・子育て支援事業計画体系骨子（案） 3 その他	
会議の記録（概要）		
発言者	議事1（仮称）西脇市こどもの笑顔をはぐくむ条例、（旧こども条例と言っていました、）に係るパブリック・コメントについて事務局から説明をお願いします。 （【資料1-1、1-2】に基づき説明）	
会長		
事務局		

会長	<p>前回の皆様のご意見を踏まえてこのように改善されましたが、このことについてご質問、確認したいことなどありますでしょうか。</p>
委員	<p>解説のところですが、例えば4ページの2行目に第1号関係と書いていますが、6ページからは第1項関係と書いてあります。何か違いがあるのでしょうか。</p>
事務局	<p>今のご指摘ですが、条文の(1)、(2)、(3)となっているものについては、条文構成上、第1号、第2号、第3号としています。それから、条文の最初は「1」が入っていないのですが、それを第1項、「2」と入っている部分を第2項と表現することになっていますので、そのように表記しています。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他にありますでしょうか。後になっても結構ですので、何かご意見をいただければと思います。</p> <p>それでは次に議事2第2期西脇市子ども・子育て支援事業計画について、事務局から説明をお願いします。</p>
コンサルタント	<p>(【資料2】に基づき説明)</p>
事務局	<p>(【資料3-1、3-2】に基づき説明)</p>
会長	<p>ただ今の説明についてご質問や確認したいことがありましたら、ご発言よろしくをお願いします。</p> <p>資料が膨大で、この説明で全て分かったぞということではないと思いますので、どんなことでも結構です。</p>
委員	<p>資料3-1の「④次期計画の体系骨子(案)」で、「2-(2)子どもと親が学び、育ち合う環境づくり」というのは、例えば今、具体的にどんな考えをお持ちでしょうか。環境整備や子どもを守るあたりは強調していると思いますが、当事者の子ども自身が学び、自尊感情を育てていくことがとても私は必要と思っています。そういう精神的というか、そのことを学ぶ方法を</p>

	<p>具体的に考えられたらと思います。</p> <p>ちなみに私は子どもの人権教育の民間活動をしたことがありますして、保護者にもあらかじめ同じことを学んでもらったのですが、もっと早くから人権に関することを分かりやすく具体的に学ぶ機会があったら良かったという声をよく聞きました。いくら環境が整っていても、人権に関する考え方があまり変わっていないと、どうしても守る一辺倒。子どもは弱くて何もできないみたいな考え方を、大人が上から目線で接してしまわないかと思っていて、いくら環境や設備が整っていても、そんな姿勢で子どもを見ていたら、折角の施策が半減してしまうのではないのでしょうか。</p>
事務局	<p>ありがとうございます。なかなか行政だけでそのような取り組みを行っていくのは難しいだろうと思っています。</p> <p>今、地域のNPOやボランティアグループなど、いろんなところでそういう学びなどをしていただいています。それから教育委員会が行っているトライやる・ウィークについても、子どもたちが事業者の協力を得て体験を学習していくような事業の1つになるのではないかと考えていますが、次回の会議で、施策の部分についてはまたご相談やご提案を申し上げながら、考えていきますのでよろしくお願いします。</p>
委員	<p>はい。お願いします。</p>
会長	<p>他、ありませんか。</p>
委員	<p>私も先ほどの委員にすごく共感するのですが、子育ては、子どもが自立して一人前になって、また社会で貢献していくように、与えるばかりではなく、どうやってその自立を目指していくかを考えないといけないのではないかと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他は。</p>
委員	<p>資料3-1の骨子案に書いてあります、「見直しの視点」の「②国や県・市の動向・方向性」で、県の推進</p>

<p>会長</p>	<p>方策に「若者の自立支援による未来の親づくり」がありますが、市では、ここの条例ではなくて他の条例で触れているのですか。</p> <p>どうですか。</p>
<p>事務局</p>	<p>こども条例の中でも、第12条に「支援の必要なこどもや子育て家庭への取組」のことを入れています。自立支援や発達支援も含まれてますが、県で定めてあるのは、そういう狭い意味でのものではなく、もっと広い意味での取組かと思われまますので、その部分についても今後施策を決めていく中で検討したいと思えます。</p>
<p>会長</p>	<p>自立支援のことも3人の委員の方から出ていますので、目玉の1つとして入れていただけたらと思えます。</p>
<p>委員</p>	<p>育児休業の取得率は女性の方は伸びて、男性は低いと言われたのですが、育児休業は男女共に100%を目指すものであって、育児休業を取れない企業ももちろんあるのしょうけど、啓発・広報をして育児休業の推進を図れるのかと。育児休業を取れないならば取れないなりに、育児時間を取るなど労働基準法で定まっているし就業規則で決まっているわけですから、時間で休暇を取るとかして、お父さんでもお母さんでも、ちょっとミルクあげにいくとか。男性も女性も育児に参加するのに、啓発・広報しか方法がないのかもしれませんが、そうではない気がします。</p> <p>例えば妊娠中のお母さんをお呼びして、実際に本当の赤ちゃんを抱っこしてみると愛着が持てるでしょうし、いろんな手立てはあるのかなと。</p> <p>こども園ではトライやるの子どもたちにミルクをあげてもらったり、0歳の子のおしめ替えを体験したりしてもらっています。自立支援のこともそうですが、育児休業の説明で、伸びているからいいとは言っていないのですが、伸びが男性の方が少ないからそちらの方は問題だという報告と私は受け取りました。どちらも問題で、女性が8割だろうが9割だろうが、ま</p>

<p>会長</p>	<p>だ1割足りないとは思っているので、もっと育児に参加すべきだと、育児に参加できるような環境をつくるべきだと私は思います。</p> <p>とても重要な視点だと思います。具体的なことについては、次回以降の会議で内容を検討していきますが、その視点も大切だと思います。事務局は持ち帰って検討して、次回に提案をよろしくお願いします。</p> <p>他意見はありますか。</p>
<p>委員</p>	<p>④骨子の「4子どもを守る仕組みづくり」ですが、西脇は本当に見守り隊がすごくよくできていますが、資料3-1の「子どもを守る仕組みづくり」では、特別なところに焦点が当たっている気がします。もっと広く一般に生活している子どもを普通に守る仕組みづくりは、この場合関係ないのかなと思いました。私達は、子どもを守るとはすべての西脇市民の子どもを守ることだったので、そこが市民感覚でいくと少ないと思いました。</p>
<p>事務局</p>	<p>もっともなご意見です。「4子どもを守る仕組みづくり」では、いわゆる虐待などの特別な支援のこととしています。それを防ぐなどの取組が、「2地域社会における子ども・子育て支援の充実」という、「(4)子どもの安全と安心の確保」で、今、委員がおっしゃったように、見守りの取組のようなものを想定して、施策として実現していきたいと考えています。</p>
<p>委員</p>	<p>「2(4)子どもの安全と安心の確保」に入ってくるということですね。</p>
<p>事務局</p>	<p>そのとおりです。</p>
<p>委員</p>	<p>本当に事件が続いているので、何かできるかなという思いで、最初に冒頭の挨拶でされていましたが、やはり地域の見守り力、地域の解決力が大切だと思いますので、そのこともお願いしたいと思います。</p>
<p>委員</p>	<p>先ほどもおっしゃったように「(4)子どもの安全と安</p>

	<p>心の確保」で、ちょっと前から個人的に気になっていることがあったのですが、この案とはまた別件になるかもしれませんが、地域で不審者が出たという情報を防災無線で発信しているのを聞いたことはありません。不審者に遭った子どもが親に言ってその親で止まっているのか、親が学校に言ったけど学校で止まっているのか、警察まで言っているけど警察で止まって市民には広まっていないのか、どうなのでしょう。そういう不審者情報やこういう事があったという情報は共有できた方が、親としては小学生高学年で1人で遊びに行かせたりしているので、遊びに行っている辺りで不審者が出たとかは知らせた方が、何かあったときに対応できるかと思います。そういう情報が学校でも、知っている先生と知らない先生もいることがあって、この間どこどこで車で追っかけられた子がいるから気をつけなさいねという話をしたクラスの先生もいれば、そんなことを聞いていないというクラスもあったりするみたいで、そのことを全体で共有できるようなシステムづくりをしてもらえたら、ちょっとでも安心できるかと思います。そういうのは防災無線では流れないのですか。</p>
事務局	<p>西脇防災ネットがありまして、全ての情報を流しているところまでいっていないので、防災とも連携していきたいと思います。</p>
	<p>私の記憶の中では青少年センターからそういう情報も各学校に流していましたので、再度徹底するようにします。</p>
委員	<p>一応、青少年センターから学校にはそういう情報が来ます。学校はその情報を受けて、自分の地区のことだったらみんなに知らせるとか、多可町などの情報も入って来るので、気をつけないといけないようなことについては、情報を共有することは各学校でやっています。</p>
委員	<p>そうなのですね。</p>
委員	<p>まだそれが保護者のところまでには伝わっていない</p>

	<p>ことがあります。</p>
委員	<p>来ていないと思います。朝陸上に行っている高学年の女の子が集団登校ではなくて早い時間に1人で歩いて行っていました。朝早く冬の6時半で暗い時期に、車の中から声をかけられてつけまわされたとか、低学年の男の子が軽トラックに乗った男の人に追っかけ回されたみたいなことを聞いたことがあるのだけど、それを学校側から聞くわけでもなく、こんなことがあった、でもその後どうなったかが分からないみたいな感じで、保護者の中で話が終わってしまっていることが多いので、そういう不審者情報はできたら周知していただけるようにしてもらえたらいいかなと思います。</p>
会長	<p>システムかネットワークかどこかが根詰まりしたのかもしれないですね。</p>
事務局	<p>防災ネットの方も皆さんご存知のように、警報であるとか、内容が3つくらいありまして、そこに不審者情報とか安全安心であるとか、気象警報とかに分かれています、気象の方は登録している方が非常に多いですが、そこらも再度防災と調整します。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他に意見ありませんか。</p>
委員	<p>父親の育児参加について、日本社会ではそのように少しずつ考え方が変わってきていますが、実際にするとなるとなかなか難しいと思います。文化的なこともあるし、お年寄りの世代からずっと男の人が働くことがメインになっているので、父親の育児参加がもっと当たり前というか、夫婦で育てていくことがもっと浸透したらよいと思っているのと、大きな町に比べると西脇は田舎で、地元の方が多いののでうまく浸透したらよいと個人的に感じました。</p>
会長	<p>他の委員、どうですか。</p>
委員	<p>先ほど話に出ていましたが、最近心の痛む事件が続く中で、今は市の子どもたちのことで考えると、一番</p>

	<p>気になったのは子どもの安全と安心を確保する部分で、いわゆるハード面というか街灯です。田舎なので、高校生とかは帰ってくる道も街灯が少なかったり、国道のすれすれの道でガードレールもない所を通っているので、今の話を聞きながらいろんな悲しい交通事故に巻き込まれたりを考えると、街灯を増やしてほしいと思います。それは違う分野になりますか。</p>
事務局	<p>担当する窓口は建設部局になりますが、関係課を巻き込みながら進めていけたらと思います。子どもの安全と安心を確保することにももちろん交通安全の設備も想定していますので、そのように考えたいと思います。</p>
会長	<p>子どもに関することは全部ここに挙げてしまうくらいの気持ちで上げてご意見をお願いします。ありがとうございました。他にありませんでしょうか。</p>
委員	<p>切れ目のない子育て支援ですが、例えば妊娠・出産とあると思いますが、言い出せない方に行政から差し伸べて、困っている人に声をかけられるようなことをしなければ、やはり連絡がいつているけれどもそのままという感じだと、そのままその人が困っている状態でずっとうまくいかないと思うので、こういう体制を作ったら、連絡しているものがそのままきちんと対応してくれているのかどうかを、確認して対応してもらえたらうれしいと思います。</p>
会長	<p>ありがとうございます。他には。</p>
委員	<p>具体的には計画の細かい取組については、次回以降ということですが、先ほどから防犯やいろんな話が出てきている中で、地域が一番大切だとお話しされていますが、やはり自分がこの歳になって、地域でいろんな大人から注意をしてもらって育った環境と、自分は子育てを終えようとしている中で子どもたちに関わった様子で言うと、やはり人間関係が段々希薄になっているなど。子ども会が無くなっている所があったり、老人会ですら逆にない所もあったりすることもあるよ</p>

	<p>うなので、具体的に地域で子どもを支えることの難しさ、組織というものがあってごく自然に地域の子どもたちを地域で育てることは理想ですが、怒って見たらと思うけどもやはり、よその子を怒れないこともあり、それは実際メンタルな部分でそのような子どもたちに関わる大人のいろんな競争教育なのかも分からないけど、それは自然にできるような環境づくりが一番大切ではないかと思うのですけど、なかなかそこが欠如してきているのが心配と思います。</p>
<p>会長</p>	<p>他にありませんか。</p>
<p>委員</p>	<p>いろいろな家庭があります。学校で子どもを見ている、保護者がもっと頑張るよということもありますし、保護者の中でも悩んでいるようなところもあります。子どもは子どもで頑張っているのだけど、なかなか家庭の方が子どもを見きれていないことが実際にあって、その手立てがなかなか学校だけでは難しいところがあります。関係機関に声をかけますが保護者が分かりましたと言って子どもに愛情を注ぐかと言うと、なかなか難しいところがあって、愛着障害の子どもも結構いたりします。学校としてもなかなか難しい家庭や保護者があったりすることもあり、できるだけ関係機関と連携を取っていきたいと思っています。</p>
<p>委員</p>	<p>この間の川崎市の事件で、何十年も経ってから今あいう事件を起こすような状態になって、その犯人だけが悪いわけではないのかなとニュースを見て感じました。その成長過程が大事だと思いました。</p> <p>それと子どもを守る仕組みづくりのところですが、夫が警察の父母の会に入っていますが、警察から連絡があって、登下校の見守りをしてほしいとの要請があったのですが、警察もいろいろ動いていただいているので、見守りの目は広がっているのではないかと思います。</p>
<p>会長</p>	<p>やはり子どもの安全の部分でこれだけご意見があるので、その辺を重点的に取り組んでいただきたいと思います。</p>

<p>委員</p> <p>会長</p> <p>事務局</p> <p>会長</p>	<p>私が昨年度まで関わっていた子育て支援のところは、例えば子育て支援センターに来る人は、そんなに支援を必要としている人ではないかもしれません。本当に必要な人は来ていなかったりするので、その人たちに対して、例えば基本目標の1(2)に情報の発信がありますが、いくら発信しても受け取る力が非常に弱い人たちに対して、受け取れるようなかたちでの発信の仕方も考えていく必要があるのではないですか。例えば外国籍の方や日本語がうまく通じない方、あるいは経済的な理由でスマホを持っていないとかいろいろな方がいると思いますので、隅々まで行き届く支援がいます。</p> <p>ありがとうございます。皆さん大体意見は出ましたでしょうか。ありがとうございました。</p> <p>それでは最後の議題に入りたいと思います。その他として事務局から何かありませんでしょうか。</p> <p>(次回会議日程の説明)</p> <p>ありがとうございました。以上をもちまして、本日の会議を終了いたします。ありがとうございました。</p>
<p>問合せ先</p>	<p>西脇市福祉部こども福祉課 電話：0795-22-3111（代）</p>